

時 期	2 年 A 巡	単元	学科	教科名	自動車工学Ⅱ 1	
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	2 級ガソリン・ディーゼル自動車		発行日	2024.4.1
			2級シャシ編			
総時限	6時限				教科担当	人見
必要時限	6時限					福田、吉田

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自動車の性能に拘る項目を理解する。
- ②国家 2 級試験 工学分野の計算問題を理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ①自動車の性能に拘る項目、内容が理解出来る。
- ②国家 2 級試験 工学分野の計算問題の基礎を理解出来る。
- ③国家 2 級試験 工学分野の計算問題が解けるようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100 点にて評価する。
整備科、SPM 科 60 点以上で合格、工学科 70 点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①排気量、圧縮比、ピストンスピードの計算問題。
 - ②レバー比、駆動力、駆動輪の回転数を求める計算問題。
 - ③電力量、電流値計算、スイッチ付電気回路計算問題。

準備学習

事前に一年 A 巡シャシ構造の自動車の性能、一年全期の自動車工学 I の基礎的な原理原則、自動車工学演習問題等について復習する。

次の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。

時 期	2 年B巡	単元	学科	教科名	自動車工学Ⅱ 2	
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	授業ノート		発行日	2024.4.1
総時限	8時限					教科担当
必要時限	8時限				人見／福田	

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自動車の性能に拘る項目を理解する。
- ②国家 2 級試験 工学分野の計算問題を理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ①自動車の性能に拘る項目、内容が理解出来る。
- ②国家 2 級試験 工学分野の計算問題の基礎を理解出来る。
- ③国家 2 級試験 工学分野の計算問題が解けるようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。
整備科、S P M 科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①レバー比、前軸荷重計算
 - ②レッカー計算、油圧計算
 - ③駆動力計算、変速比計算
 - ④一定速度走行中の出力計算、スタータ出力計算
 - ⑤トルクコンバータ出力計算
 - ⑥オームの法則計算

準備学習

事前に一年 A 巡シャシ構造の自動車の性能、一年全期の自動車工学Ⅰの基礎的な原理原則、自動車工学演習問題等について復習する。

次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。

